

「自治会ニュースコンクール2011」審査結果

(2012/03/02)

本コンクールには5町の17自治会・大字から応募があった。

自治会・大字・町内会にはそれぞれに違った歴史や地域事情があり、住民の意識やニュースづくりに充てられるマンパワー、費用などの問題から、発行していないところも多いと思われる。その中でまず、自治会ニュースを発行していること、さらには本コンクールに応募されたことに敬意を表したい。

応募ニュースは1ページから20ページを超えるものまであり、カラーを採り入れているものなど多種多様。いずれにもそれぞれの良さがあり、たとえ少ないページ数であっても、住民にとって必要な情報を簡潔にまとめ、読みやすい工夫がなされているのには感心させられた。

実行委員会会長賞

最優秀賞である実行委員会会長賞には「泉台ニュース」と「久美ヶ丘かわらばん」が候補に残った。タイプの異なる作り方で、それぞれに優れており、様々な角度から検討を加えたが、総合的に優劣をつけがたく、両者の受賞とした。

「泉台ニュース」(河合町)

バランスが取れ、親しみやすく、レベルの高い紙面となっている。

大きな特徴は、トップページがインデックス機能を果たしていること。一目でニュースのおおまかなラインアップを知り、読みたい情報に直行できるよう工夫がなされている。

内容は実に豊富。それでも、記事の配置や写真などを使ったレイアウトにより煩雑さを感じさせず、住民に必要で役に立つ情報は目を引きやすくしている。

毎月発行し、自治会発足当初から40年以上継続していることも評価材料となった。

「久美ヶ丘かわらばん」(河合町)

読ませようという姿勢が、写真やイラストを巧みに配したメリハリのあるレイアウトに如実に現れ、極めて質の高い仕上がりになっている。活字ポイントの大きさも特徴的。カラーでなくても、これだけビジュアルで読みやすい紙面ができることを示す好例と言える。

住民に必要で役に立つ情報の選択も良く、カットをうまく使って大事な情報を目につきやすくしている。「ひと～久美ヶ丘人物鑑～」は地域への求心力を生む好企画。

担当者6人によるニュースづくりへの意欲的な取り組みも評価材料となった。

毎日新聞社賞

「若葉のたより」(平群町)

すっきりした作りで読みやすい。派手さはないが、内容的に充実しており、「専門部からのお知らせ」もうまくまとめられている。防災、防犯、衛生へのこだわりが特徴的。特に「防災コーナー」に自治会としての取り組みがうかがえる。最後のページを「自治会カレンダー」としたのも、いいアイデア。

河合町総代自治会長会賞

「高塚台二丁目ニュース」(河合町)

写真を多用してビジュアル化に努めている。トップに、住民に役立つ「今後の予定」を置いたのもいい。内容によって記事の配置を考え、カット、レイアウトを工夫すれば、さらに良くなるだろう。

河合町長賞

「緑ヶ丘自治会だより」(平群町)

4ページとコンパクトではあるが、情報が手際よくまとめられている。企画記事「閑話休題」が秀逸。担当者の取材や住民からの投稿に基づいて作っているが、面白いうえ、地域への愛着、アイデンティティを醸成する読み物となっている。

毎月発行しているのに担当者は1人で、持続性が気になるところ。

審査委員長特別賞

「緑ヶ丘だより」(河合町)

カラーがきれいで、手に取ってみたいくなる。4ページとコンパクトながら、身近な情報を写真で分かりやすく伝えている。「町内会Q&A集」は好企画。随時掲載すれば、効果を上げるだろう。

毎月発行しているのに、担当者1人というのは寂しい。

「勢野北1・2丁目自治会便り」(三郷町)

カラフルで読みやすい。カラーで毎月発行しているため費用の面で難しさがあると思うが、ブロック毎の回覧というのは少し残念。

「自治会館建設広報」をネット(ブログ)と連動させた取り組みは、新しい手法として注目に値する。